

感染対策課

研究課題名

混合病棟における尿道留置カテーテル関連尿路感染対策の評価

研究目的

尿道留置カテーテルとは、何らかの理由で尿を排泄できなくなった場合、尿道から膀胱へ挿入し、持続的に尿を排泄できるようにする管のことです。全身麻酔が必要な手術を受ける方や膀胱内に尿が貯留し排泄できない方、他にも全身管理が必要な重症患者さんに対し用いられます。

カテーテルを挿入すると、尿道に存在する細菌が膀胱内に押し込まれたり、外陰部に潜む細菌がカテーテルと尿道の隙間を通り尿路感染を引き起こす可能性があります。そのためカテーテルの使用目的を明確化し挿入期間は必要最小限にする必要がありますが、挿入の目的が不明瞭でカテーテル留置期間が長期化するケースが散見されました。

そこで病棟感染リンクナースと排泄ケアリンクナースが病棟看護師に対し、尿道留置カテーテルが適切に使用されているかリマインドを行い、適正使用に取り組みました。本研究では対策前後のカテーテル挿入期間や感染率の変化を比較し、カテーテル挿入期間が長期化するリスク要因について検討します。

研究期間

2024年8月29日～2025年8月31日

利用する試料・情報

2024年2月から2024年7月までの期間に、クリニカルパスを適用されず、かつ尿道留置カテーテルを挿入された混合病棟に入院された患者様を対象とします。

ご年齢、性別などの基本属性、診断病名、既往歴や治療経過（血液検査や画像検査も含みます）について、カルテ（診療録）の記録をもとに情報収集します。

なお、個人が特定されないよう個人情報保護に配慮しながら、匿名化された研究用データを取り扱います。また、学会・学術誌等での発表に際しても、個人が特定されないよう十分に留意いたします。

試料・情報を利用する者の範囲

研究責任者： 感染対策課 氏名 秋田 友紀

この研究は、感染対策課、看護部、泌尿器科、外科、ときわ会先端医学研究所(RIIM)の共同研究です。

もし、この研究活動にご自身の診療記録を利用されたくない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。この場合であっても診療上、不利になることは一切ありません。

連絡先

ときわ会常磐病院 総務課

〒972-8322

福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台 57 番地

TEL : 0246-81-5522 FAX : 0246-81-5577